

第38回 〈ケア〉を考える会-岡山

■日時： **2018年7月15日(日) 14:00~16:30**

■会場： **川崎医療福祉大学 本館6階6001演習室**

http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php/*

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。
駐車場は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで北側)が利用できます(1時間100円)。



■会費：無料。どなたでも参加できます。初参加歓迎。申込不要、直接会場にお越しください。

■内容

永岡正己「社会福祉の思想と価値」を読む

発表：河合 清志さん
(社会福祉士/正木山福祉会)

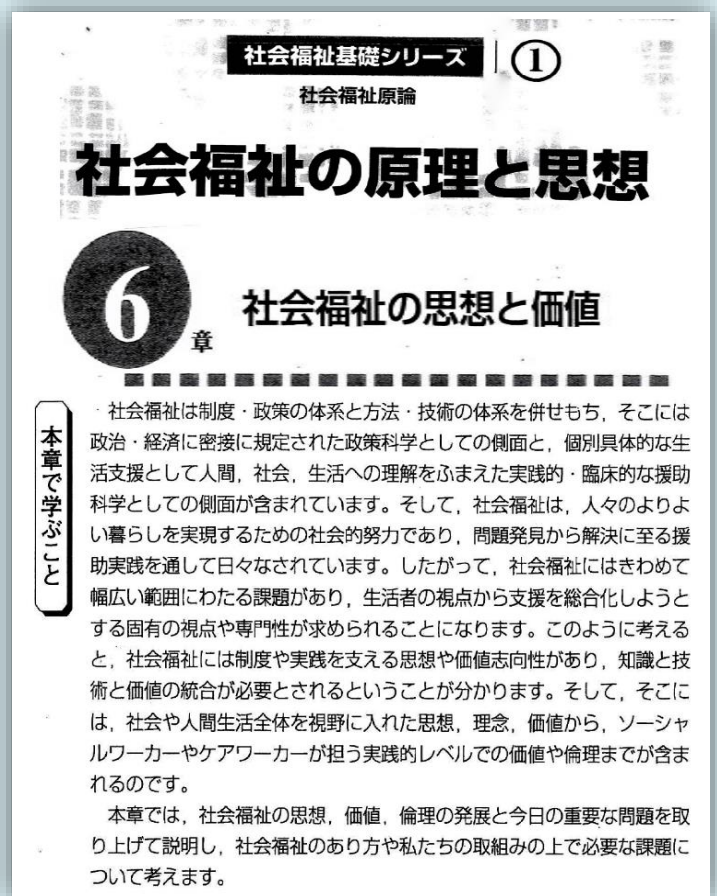
河合清志さんが日本福祉大学在学中に講義を聞いたり読んだりした永岡正己先生。

「すごい先生」と感じつつも「理解できなかった」とかで、その後も「忘れられず」「いつか永岡先生」と「決めていた」そうです。

そして、「30年ぶりに」著作を読み、「今はいくらか理解できている自分がいる」「もう一度学び直したい意欲が湧いてきた」と言います。

その話を聞いた美作大学の永見芳子先生が「永岡先生のことなら……」と、津山から参加していただけることになりました。河合さんの発表、さらに参加者からの発表などを聞いて、皆さんで対話しましょう。永見さんからもお話が聞けそうです。

(『社会福祉の原理と思想』有斐閣・2003年 所収)



■問い合わせ： 884michiya@gmail.com 090-5366-1497 (林)



「〈ケア〉を考える会-岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、〈ケア〉について学び考えています。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。そして、〈ケア〉は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などとつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。また、鷲田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。「ケアの問題のいちばんの核心にあるのは、ひとにおいてはだれかの傍らにいるというただそれだけのことで、力を与え合うという関係が両者のあいだに発生することになるのはなぜか、という問いだ……」(『死なないでいる理由』より) などとも述べています。

この会では、〈ケア〉について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味からから広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る“場”となることを願います。この会は参加者の“つながり”を大切にします。

※ ホームページ ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>

